

ARIBからの
お知らせ

第55回電波利用懇話会のご案内
新たな移動通信システムの最近の検討状況について
～UWB、BWA、1.5GHz帯周波数再編の技術的条件～

近年、オフィスや家庭内において、事務の効率化や生活の利便性向上のため、様々な機器に通信機能が搭載されつつあり、これらの機器間でワイヤレスを用いて大容量のデータを高速に伝送できる手段の一つとして、非常に広い周波数幅にわたって電力を拡散させるUWB (ultra-wide-band : 超広帯域) 無線システムが注目されています。

総務省は、3月27日、マイクロ波帯を用いた通信用途のUWB無線システムの導入に向け、情報通信審議会から、「マイクロ波帯を用いた通信用途のUWB無線システムの技術的条件」について一部答申を受けました。

これにより、今後、マイクロ波帯を用いた通信用途のUWB無線システムの普及促進が期待されます。また、BWAについては情報通信審議会に諮問がなされ、1.5GHz帯周波数再編についても情報通信審議会での技術的条件の審議が開始されています。

当会では、今後の電波利用の発展に大きく係わる本件について、総務省から講師をお招きして説明していただくこととし、下記により第55回電波利用懇話会を開催することといたしました。会員の皆様には、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 日時 : 平成18年4月24日(月) 午後3時から5時まで
- 2 場所 : 東海大学校友会館 阿蘇の間 (霞が関ビル33階)
東京都千代田区霞が関3-2-5 TEL:03-3581-0121
- 3 題名 : 新たな移動通信システムの最近の検討状況について
～UWB、BWA、1.5GHz帯周波数再編の技術的条件～
- 4 講師 : 総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課
課長補佐 新田 隆夫 様
- 5 対象 : ARIB正会員及び賛助会員
- 6 参加者 : 150名程度 (定員になり次第締め切らせていただきます)
- 7 申込先 : 当会ホームページのセミナー講演会等の申込受付まで
(<https://www.arib.or.jp/cgi-bin/semi/usr/general.cgi>)

8 参加費 : 無料

9 お問い合わせ先

企画国際部 斉藤

TEL:03-5510-8592

FAX:03-3592-1103



会場案内図

「電波環境解説書」(第2版)発行のお知らせ

私たちが日常生活を送るうえで電波利用機器が身近なものとなってきてことで、電波に不安を持つ人がでてきています。こうした状況を考慮して、当会の電磁環境委員会広報部会では、平成17年度事業として、解説書ワーキンググループ(岡本英明主査(NTTドコモ))を発足し、「電波環境解説書」(第2版)を完成しました。

本解説書は、電波についての正しい知識の普及を目的に、電磁気学の基礎的知識、電波防護指針の制定経緯、人体への安全性に関する研究状況等を平易に解説したもので、(社)電気通信事業者協会(TCA)、情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)と連名で発行し、2月10日からARIBで頒布を開始しています。

この度、この「電波環境解説書」と共に、一般の方々に電波を広く理解してもらうための入門書として活用できる内容と好評の「身近な電波の科学」(中学生を対象に電磁環境委員会で作成し、国内全中学校約11,000校に寄贈済み)を、一般の方々に広くお読みいただくことができるように、全国約3,000ヶ所の公共図書館に寄贈しましたので、ご利用下さいますよう、お知らせいたします。

電波環境解説書



図書館寄贈用



頒布用

身近な電波の科学



「電波の有効利用のための技術的条件」についての情報通信審議会への
諮問及びVHF/UHF帯に導入を計画又は想定している具体的システム
の
提案募集（3月27日付総務省報道発表から）

1 「電波の有効利用のための技術的条件」についての情報通信審議会への諮問

(1) 諮問の目的

我が国における無線局数は、2006年1月末時点で1億局を超えており、携帯電話に加え、無線LAN、電子タグなど様々な形態の電波システムについて、普及や利用の拡大が進んでいます。

これらの電波の需要増に対応するため、総務省では、「電波政策ビジョン」（2003年7月情報通信審議会答申）に基づき電波開放戦略を推進し、抜本的な周波数割当て及び電波利用料制度の見直し、周波数の再配分・割当制度の整備、の抜本の見直し及び研究開発の推進等、電波を最大限有効利用するための戦略的な電波行政を展開しているところです。

このうち、抜本的な周波数割当ての見直しについては、2003年10月に策定した「周波数の再編方針」に基づいて着実に実施しておりますが、今後、2011年の地上テレビジョン放送のデジタル化をはじめとして、移動、放送等の業務をまたがる大規模な周波数再編が想定されています。

したがって、周波数のより一層の有効利用による効率的な電波の再配分の実施により、我が国の情報通信分野における国際競争力強化を一層推進するためにも、今後導入が想定される電波システムの技術的特性等を総合的かつ詳細に検討することにより、電波の有効利用方策につながる周波数配置、隣接システムとの共用条件等について、産業界や利用者に対して明確に示していくことが必要です。

以上のことから、各業務間の周波数共用条件等について、横断的かつ総合的な検討が必要と考えられる周波数帯に関し、その電波の有効利用方策につながる技術的条件について審議を求めるものです。

(2) 諮問内容

電波の有効利用のための技術的条件

(3) 答申を希望する事項

ア VHF/UHF帯における電波の有効利用のための技術的条件

イ マイクロ波帯における電波の有効利用のための技術的条件

ウ ミリ波帯における電波の有効利用のための技術的条件

(4) 検討体制

情報通信審議会情報通信技術分科会における審議に資するため、同分科会の下に、新たに「電波有効利用方策委員会（主査：土居 範久 中央大学 理工学部 教授）」が設置されました。

(5) 今後の予定

上記(3)ア項の事項について、平成19年6月頃に答申をいただき、関係規定の整備を行う予定です。

2 VHF/UHF帯に導入を計画又は想定している具体的システムの提案募集本件諮問に併せて、情報通信審議会情報通信技術分科会における審議に資するため、VHF/UHF帯のうち、地上アナログテレビジョン放送終了後の利用方法の具体化が必要な周波数帯において、具体的に計画又は想定している電波利用システムについて、本日から本年4月27日までの期間、広く提案を募集することとします。

なお、詳細は<http://www.soumu.go.jp/s-news/2006/060327_2.html>を参照ください。

欧州電気通信/
放送の動き

仏地上デジタルテレビ放送、衛星利用で100%カバーを目指す

【La Tribune, 2006/03/16】

仏日刊紙La Tribuneによると、エストロジ国土整備担当相はこのほど、地上デジタルテレビジョン放送のカバー率100%を達成するため、数週間中に衛星によるカバーで補完することが提案される予定であることを明らかにした。同相は、年内に100%カバーを達成することを目指す、地上中継局の設置だけでは国土の80~85%のカバーしか実現しないため、衛星デジタル放送事業者のサービスを介するか、「アトランティックバード³」衛星経由で直接放送するかを選択を今夏までに下すとした。なお、この決定に先立っては、地上デジタル放送で放送している¹⁸の無料局の承認が必要になるとしている。

CSA、CATV事業者に地上デジタル放送無料局の無料配信を要請

【Les Echos, 2006/03/23】

仏日刊紙Les Echosによると、CSA（視聴覚最高評議会）

は、3月22日、CATV事業者に対して、地上デジタル放送の無料局¹⁸局の配信方法の変更を勧告した。

CSAでは、地上放送のテレビ局を、非加入者を含めてすべての接続世帯に配信する義務がCATV事業者にあることを挙げつつ、従来の地上アナログ局に地上デジタル放送の無料局を加えて配信しても、追加の費用が生じるとは言えないと指摘。

それにもかかわらず大幅な料金引き上げをする事業者は、CSAの求めに応じて、引き上げを正当化する資料を提出しなければならないとした。

また、具体的な配信方法としては、CATV経由で配信されるTV信号を市販の地上デジタル放送用STBに直接入力して地上デジタル放送の無料局を視聴できるように、DVB-T規格にて配信するか、或いは従来通りCATV用の規格（DVB-C）で配信する場合には、DBV-T規格に信号変換するアダプタを適正価格（地上デジタル用STBと同程度の価格）で市販されるようにするか、又は自らアダ

プタを保証金を預かって提供するか、いずれかの方法を採用するよう求めた。

編集後記

例年、花見を休日にしてはいますが、今年はこの3月に次男が大学院卒業、結婚、つくばへ引越しと行事が重なって時間がとれず、ウィークデイの夜桜見物としました（写真）。やはり昼間の桜があつてこそその夜桜であり、なんとなく物足りなさを感じていました。7日に国会図書館に調べものに行つて永田町の



駅から歩くと、図書館の周りに盛りは過ぎていますがかなりの花が残っているソメイヨシノが、風にはらはらと散るすばらしい景色に出会いました。色気さえ漂わせる満開の桜もいいですが、盛りをこえ散ってゆくのもなかなかのものでした。帰りは桜に誘われてARIBへ歩いて帰ってきました。さらに思いがけず9日の夜にはつくばの農水桜並木の500本の桜を楽しみました。近場でも場所を変えればかなりの期間桜を

楽しむことができ、本当に日本は桜の国ですね。

(La boheme)

[ページの先頭に戻る](#) ▲